

特定非営利活動法人 熊本県有機農業研究会

理事長様

有機農産物の生産行程管理者として認証を受けたいので、貴研究会の規程に基づき、下記のとおり申請します。

申請日	年 月 日		
ふりがな			
申請事業者名 (生産行程管理者名)	印		
申請事業者 住所	〒		
電話番号		F A X 番号	
携帯電話番号・氏名	— — (氏名：)		
E - m a i l (P C)			
格付を行おうとする農林 物資の種類	有機農産物		
主な品目 (上位 5 品目)			
組織の形態 (右のいずれかに ○をする。②、③の場合は下 記に構成員等を記入のこと)	① 有機農産物の生産業者		
	② 複数の生産業者を構成員とするグループ		
	③ 有機農産物の販売・流通業者		
構成する生産者の氏名・名称	住 所	電話番号	

生産行程管理責任者名	
生産行程管理担当者名	
格付責任者名	
格付担当者名	

各担当者の資格要件に係る記載事項

ふりがな 氏 名	
担当名 (該当するものに○)	・ 生産行程管理責任者 ・ 生産行程管理担当者 ・ 格付責任者 ・ 格付担当者
生年月日	(昭・平・令) 年 月 日
住所	〒
電話番号	
FAX番号	
最終学歴	
農業生産歴	年より 年間
農業指導歴	・ 指導 ・ 調査 ・ 試験研究 年間
講習会の受講の有無	年 月 日 受講 (修了)

※ 担当者が複数いるときは、コピーして人数分作成してください。

【添付資料】

- I. ほ場周辺図
- II. ほ場図
- III. 航空防除実施地図
- IV. 施設・機械等の管理
- V. 生産及び保管に関する施設の図面
- VI. 資材の入手・管理
- VII. 使用種苗の入手・管理
- 内部規程、栽培基準
- 格付規程
- 年間生産計画
- J A S 表示の案等
- アンケート

I .ほ場周辺図

- ※ 最寄の駅・IC 及び主要道路からの道順がわかるよう記載すること。
- ※ 申請ほ場、生産・保管に係る施設（倉庫、選別場、苗床）等の位置関係が明らかになるように記載すること。
- ※ 近隣にある河川、道路、鉄道、工場、ゴルフ場、焼却場等を記入すること（住宅地図などのコピーに必要事項を記入してもよい）。
- ※ 方角を記入し、ほ場にはほ場番号を入れること。
- ※ ほ場が複数の固まりに分かれるときは用紙を分けるなどして記載してください。

Ⅱ.ほ場図

ほ場名・番号		生産者名		地目	
ほ場所在地				面積	a

※ 申請ほ場について、各ほ場ごとに隣接地との距離・緩衝物などを記載すること。隣接地が農地の場合は有機か非有機かを記入すること。

※ 水田などに関しては取水口、排水口を記入すること。

※ 方角を記入すること。

※ 隣り合ったほ場などはまとめて記入してもよい。

※ 生産者名の欄は、農家台帳などをもとに生産者（耕作者）名を記入すること。個人申請の場合は「本人」と記載すること。

Ⅲ.航空防除実施地図

実施主体名 () 連絡先 ()

- ※ 実施されていない場合は「なし」と記入すること。
- ※ ほ場周辺図等を利用し、実施対象地域をマーカーで色分けすること。
- ※ 申請ほ場の近隣で実施される場合は実施対象ほ場との距離を記入すること。

IV.施設・機械等の管理

1.生産行程の委託について

生産行程の委託の有無 (有 ・ 無) → 有の場合は以下に詳細を記入			
施設を伴う委託 (粃摺り、精米等)			
作業行程名	事業所の名称	委託事業所の所在地	連絡先電話番号

※ 委託事業所の所在地は郡市名より記入すること。

作業行程のみの委託 (田植え、耕起等)			
作業行程名	事業者名	委託事業者の所在地	連絡先電話番号

※ 委託事業所の所在地は郡市名より記入すること。

※ 委託のある場合は委託に関する契約書、マニュアルを添付するか実地調査時に用意しておくこと。

2.生産および保管に関する施設のリスト

番号	施設名	構造規模	所在地	所有形態	有機専用 慣行併用	備考
1				個人 共同	専用 併用	
2				個人 共同	専用 併用	
3				個人 共同	専用 併用	
4				個人 共同	専用 併用	
5				個人 共同	専用 併用	
6				個人 共同	専用 併用	
7				個人 共同	専用 併用	
8				個人 共同	専用 併用	
9				個人 共同	専用 併用	
10				個人 共同	専用 併用	
11				個人 共同	専用 併用	
12				個人 共同	専用 併用	
13				個人 共同	専用 併用	

※ 生産から出荷までに利用する全ての施設について記載する。(例：苗床ハウス、倉庫等)

※ 所在地は郡市名より記入すること。

※ P8 で記入したものは記入しなくて良い。

3.機械等のリスト

機械等の名称	メーカー・型式	所有形態	有機専用 慣行併用	洗浄方法
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	
		個人 共同	専用 併用	

V. 生産および保管に関する施設の図面

※ 認証ほ場以外で育苗を行う場合は育苗施設も記入のこと。

※ 寸法の記入をするなどして機械・器具および資材の配置が明確になるように記入すること。

※ 1 枚に複数の施設の図面を記入しても良い。

VI.資材の入手・管理

資材リスト (表 A. 1、B. 1、C. 1、D. 1、育苗用土)

資材の名称 製造者・自家製資材	種別 (該当するものに○)	登録年	削除年	登録番号 (JASOM 等)	有効期限 (農水 HP 資材)
名称： 製造者または自家製資材：	・育苗用土 ・肥料/土壌改良剤 ・農薬 ・きのこ種菌 ・施設用薬剤 ・調製用資材				
名称： 製造者または自家製資材：	・育苗用土 ・肥料/土壌改良剤 ・農薬 ・きのこ種菌 ・施設用薬剤 ・調製用資材				
名称： 製造者または自家製資材：	・育苗用土 ・肥料/土壌改良剤 ・農薬 ・きのこ種菌 ・施設用薬剤 ・調製用資材				
名称： 製造者または自家製資材：	・育苗用土 ・肥料/土壌改良剤 ・農薬 ・きのこ種菌 ・施設用薬剤 ・調製用資材				
名称： 製造者または自家製資材：	・育苗用土 ・肥料/土壌改良剤 ・農薬 ・きのこ種菌 ・施設用薬剤 ・調製用資材				
名称： 製造者または自家製資材：	・育苗用土 ・肥料/土壌改良剤 ・農薬 ・きのこ種菌 ・施設用薬剤 ・調製用資材				

※ 資材が特定できるように、資材の名称、製造者または販売者は正確に記入すること。

※ 申請日より遡って 2 年間（多年生作物の場合は 3 年間）に使用した資材を記入すること。

※ 育苗用に使った資材（床土、肥料など） も記入すること。

※ 自家製資材については、製造者または自家製資材の欄に「自家」と記入すること。

VII.使用種苗の入手・管理

種苗リスト

作物名 品種名	入 手 先 (メーカー名、自家採種など)	種類および 形態	種苗の 生産方法	有機種苗でない場合の理由
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()
		種・苗・ シーダーテープ	有機・不使用・ 慣行	①・②・③ ④ ()

※ 格付しない作物（裏作や緑肥など）についても含め、申請ほ場使用する種苗を全て記載すること。

※ 自家採種の場合は、入手先の欄に「自家」と記入すること。※ 「種苗の生産方法」欄は、有機栽培の種苗なら「有機」、使用禁止資材を使用せず生産された種苗なら「不使用」、慣行栽培の種苗なら「慣行」に○をつけること。

※ 「有機種苗でない場合の理由」欄は、以下のうち該当する番号に○をつけること。

①：有機種苗の入手先が見つからない ②：有機種苗は価格が合わない

③：品種の維持更新に必要 ④：その他（カッコ内に具体的な理由を記入）

VIII. その他汚染リスクのある資材等

※マルチ、寒冷遮、遮光ネット、交配用ミツバチ、アイガモなどを記載

※慣行栽培との併用がある方は記入してください。

申請日 (削除日)	資材名	使用状況 (専用・併用等)	使用後の処分方法	備考
		(専用・併用)		
		(専用・併用)		
		(専用・併用)		
		(専用・併用)		
		(専用・併用)		
		(専用・併用)		
		(専用・併用)		

年間生産計画（ 年 月 ～ 年 月）

ほ場番号	①作物名②作付け面積 ③予定収量	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	備考（使用資材、使用機械等）

記号凡例：播種→○、定植→△、収穫→□、施肥→●、防除→▲、調整→■、出荷→◎
※ 作業時期を上旬、中旬、下旬と具体的に記入すること
※ 用紙の足りない場合はコピーして下さい。他の様式で年間計画を立てている場合はそのコピーを使用して結構です。

表示の案について

商品名：

有機 JAS マークおよび名称等の表示の内容がわかるように、パッケージデザイン案を添付してください。

貼付欄 （入らない場合は、「別紙添付」と記入の上、案を添付してください）

※名称は、日本農林規格 JAS1605.6 に沿って表示すること。
※実際のサイズがわかるように、補足説明を記入してください。
※食品表示についての詳細は、各県の担当課にご確認ください。

新規申請前の確認のため、以下についてご回答をお願いいたします。

「はい」 または 「いいえ」 に○を付けてご回答ください。

① 本会または他の認証機関で認証を取得していたことがありますか？もしくは現在取得していますか？（「はい」の場合、カッコ内をご記入ください。） （認証機関名： ） （認証事業者名： ）	・ はい ・ いいえ
② １年以内に、格付表示違反で罰金以上の刑に処せられたことがありますか？	・ はい ・ いいえ
③ 本会または他の認証機関から １年以内に認証の取消しを受けたことがありますか？ または、本会または他の認証機関から １年以内に認証の取消し通知を受理せず、廃止を行ったことがありますか？	・ はい ・ いいえ
④ 本会の認証同意書をよくお読みになり、同意の上で、署名・捺印をされましたか？	・ はい ・ いいえ
⑤ 内部規程および格付規程を作成し、内容について把握できていますか？	・ はい ・ いいえ
⑥ 有機 JAS 講習会、認証同意書、有機 JAS 制度の内容について、よく理解できましたか？（疑問点、質問事項などはありませんか？）	・ はい ・ いいえ
⑦ 本会が認証を行う、管轄区域、農林物資の区分及び種類を理解されていますか？（以下に本会の業務規程を抜粋し記載しますので、今一度ご確認ください） ※熊本県有機農業研究会「有機認証業務規程」より抜粋 第４条 本会が認証に関する業務を行う区域は、日本国内とする。ただし、生産行程等の一部を外部委託している場合、外注先他共同経営体等所在地においては国内外を問わず必要に応じて調査を実施することができる。 第６条 本会が認証を行う農林物資の区分は「JAS 法施行規則第 41 条第５号」とし、種類は「有機農産物及び有機加工食品（有機農産物加工食品に限る）」とする。 第７条 本会が認証を行う者は、生産行程管理者及び小分け業者とする。	・ はい ・ いいえ

最後に、あなた自身の有機農業に対する想いを教えてください。今後の有機農業の発展、制度の充実の参考にさせていただきます。

①有機農業を始めたきっかけは何ですか？

②有機農業に取り組む上での基本的な考え方、モットーはありますか？

③有機農産物の生産でこだわっていること、工夫していることは何ですか？

④有機 J A S 認証の取得に関して、期待することは何ですか？

⑤認証に関して分かりにくいこと、聞いてみたいことはありますか？

⑥その他意見等ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。